

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

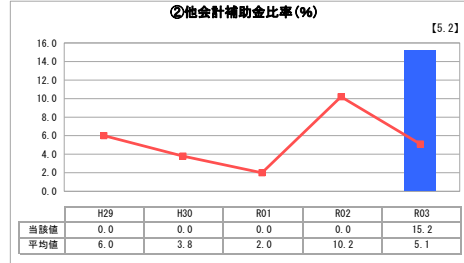
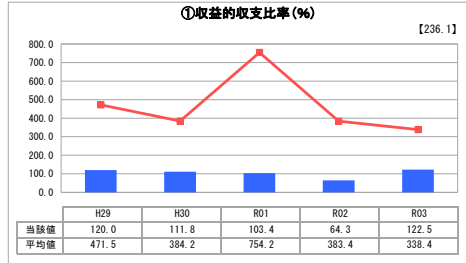
岐阜県瑞浪市 瑞浪駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	17	

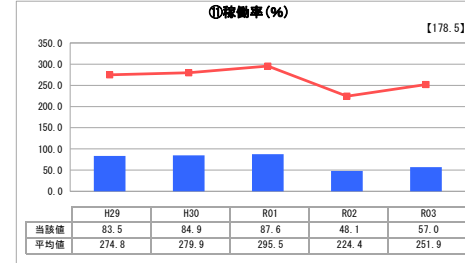
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	10,200
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
370	25	無

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
-	類似施設平均値(平均値)
□	令和3年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 分析欄

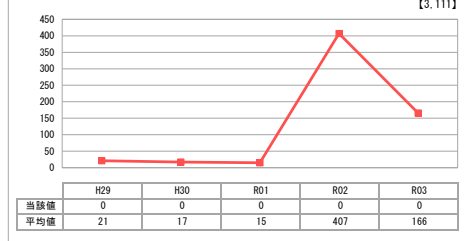
1. 収益等の状況について  
 【駐車台数1台当たりの他会計補助金】  
 誤:0⇒正:40円  
 【売上高GOP比率】  
 誤:28.3%⇒正:71.7%  
 ※左記グラフ数値について、上記のとおり訂正いたします。  
 令和3年度は料金収入の回復および維持管理経費の削減に努め、『収益的収支比率』『売上高GOP』『EBITDA』は昨年度より数値が改善されています。『他会計補助金比率』『駐車台数1台当たりの他会計補助金』については、コロナ対策臨時交付金を活用して非接触決済機能を導入した際に臨時交付金を一般会計から繰入れる必要がありました。令和4年度以降は昨年までと同様に、他会計補助金に依存することのない経営となります。

2. 資産等の状況について  
 令和10年度に瑞浪駅北駐車場の一部を活用した複合公共施設の整備が検討されています。劣化状況を確認しながら修繕や管理機器の更新時期も検討していく必要があります。

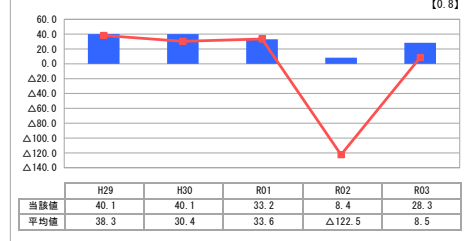
3. 利用の状況について  
 令和2年度は外出規制など新型コロナウイルス感染症の影響により利用は大きく減少しました。令和3年度は規制の緩和や経済活動の復調とともに利用は増加しましたが、テレワークの普及等社会情勢の変化によりピーク時ほどの利用となりませんでした。  
 稼働率については、立地上、通勤のため長時間駐車することにより平均値を大きく下回っています。

全体総括  
 駅北駐車場は、平成27年度から平成29年度にかけて駐車場の拡張工事を行ったことにより、令和9年度まで地方債の償還が発生するため、より効率的な運営を行う必要があります。  
 利用は回復傾向にありますが、今後もテレワークの普及等社会情勢の変化によりピーク時ほどの利用収入にならないと予想されることから、引き続き維持管理費の削減に努める必要があります。

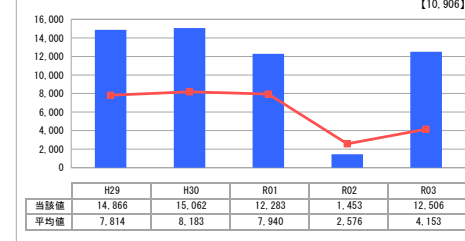
## ③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円) [3.111]



## ④売上高GOP比率(%) [0.8]



## ⑤EBITDA(千円) [10,906]



## 2. 資産等の状況

### ⑥有形固定資産減価償却率(%)



### ⑦敷地の地価(千円)

294,607

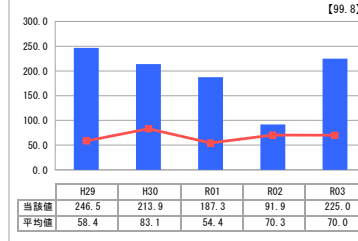
### ⑧設備投資見込額(千円)

24,500

### ⑨累積欠損金比率(%)



### ⑩企業債務高対料金収入比率(%) [99.8]



# 経営比較分析表（令和3年度決算）

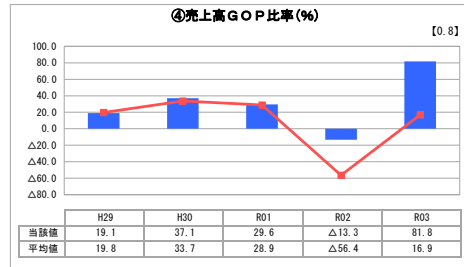
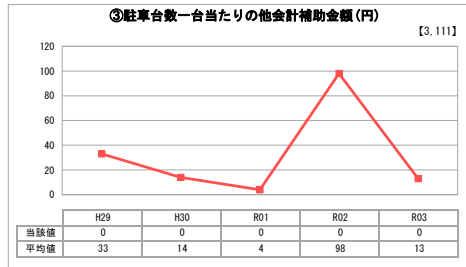
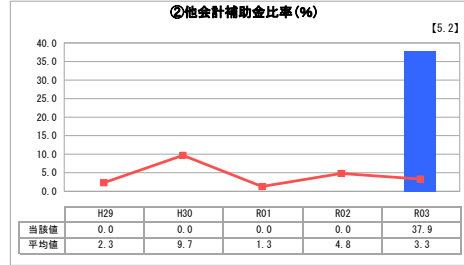
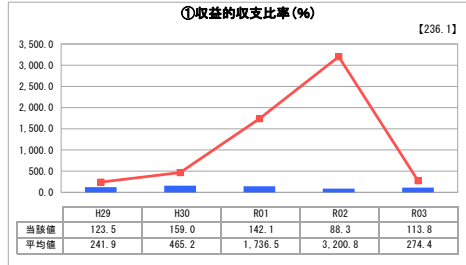
岐阜県瑞浪市 瑞浪市浪花駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	39	

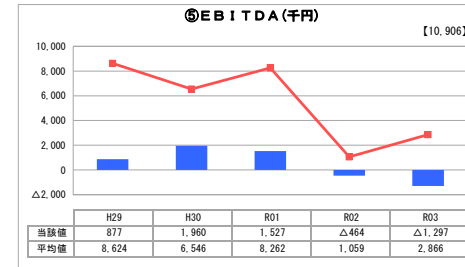
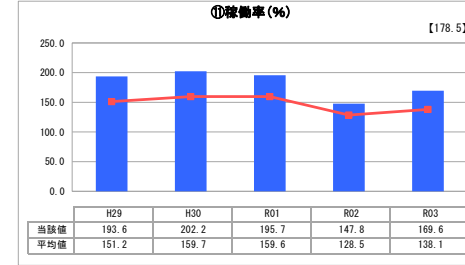
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	1,672
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
46	25	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

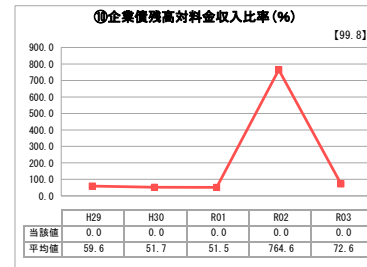


### ⑦敷地の地価(千円)

88,919

### ⑧設備投資見込額(千円)

9,500



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 『駐車台数1台当たりの他会計補助金』  
 誤:0⇒正:72円  
 【売上高GOP比率】  
 誤:81.8%⇒正:18.2%  
 ※左記グラフ数値について、上記のとおり訂正いたします。  
 令和3年度は料金収入の回復および維持管理経費の削減に努め、『収益的収支比率』『売上高GOP』は昨年度より数値が改善されました。  
 『EBITDA』『他会計補助金比率』『駐車台数1台当たりの他会計補助金』については、コロナ対策臨時交付金を活用して非接触式決済機能を導入した際に、一般会計から繰入れる必要がありました。令和4年度以降は昨年までと同様に他会計補助金に依存することのない、経営となります。

**2. 資産等の状況について**  
 経年劣化による機器の更新や場内の再整備について計画的に検討していく必要があります。

**3. 利用の状況について**  
 平成26年度の料金改定により、利用者がわかりやすく、利用しやすい料金に改定しました。改定以降、稼働率は改善しており、類似施設平均値を超える値を維持しています。  
 令和3年度は規制の緩和や経済活動の復興とともに利用は増加しましたが、テレワークの普及等社会情勢の変化によりピーク時ほどの利用となりませんでした。

**全体総括**  
 料金収入の向上に伴い、指標は改善されましたが、平均値と比較すると維持管理に要する経費が高いため、更なる経費の抑制に努める必要があります。安定して利用があることから維持管理経費の削減に努めつつ、快適な利用環境を整える必要があります。